

## 第1回放射線療法部会 議事録

開催日時：2009年7月12日 9:20～10:00

場所：麻布大学 8402 講義室

出席者：金久保佳代、河津幸雄、芝裕輝、高橋朋子、長田雅昭、中山智宏、福山泰広、藤田道郎、圓尾拓也、三宅龍二、森麻江、和田 成一（敬称略、50音順）（合計12名）

委任者：入江充洋、廉澤剛、夏堀雅宏、野村耕二、保坂創史、南毅生（敬称略、50音順）（合計6名）

### 1. 報告事項

#### (1) 参加者名簿

資料1の通りであることを報告し、今後も希望者を募集することとした。

#### (2) 次回以降の会議開催について

以降はおおむねメールにて行っていくことを報告した。

### 2. 審議事項

#### (1) webの充実

日本獣医がん学会ホームページで放射線治療に関する情報を発信してはどうかと、圓尾部会長から提案された。具体的に以下の3項目が提案された。

##### a) 放射線治療施設

Veterinary Cancer Society (VCS)のホームページ(資料2)のように、施設の名称一覧のページを作ることについて、前向きに検討することとなった。高橋委員より、電話番号を載せることを望まない施設もあるかもしれないとの意見があったため、掲載項目については、今後の検討課題とした。

VCSのページではオルソ保有施設についても掲載されているが、藤田、高橋両委員より、オルソ保有施設のweb上での公表は、慎重に行った方がよいとの意見があり、さらに検討することとなった。(オルソは医療用に承認された機器ではないため、web上で公表すると、オルソを用いた治療で何らかの問題が起こったときに、学会としての立場を問われる可能性がある。)

##### b) 放射線治療の解説(オーナー向け)

資料2のVCS、資料3の日本医学放射線学会のホームページでも掲載されており、学会として広く啓蒙することはいいことではないかという意見が出た。また、特定の施設名を出さずに、「詳しくはお近くの動物病院にお問い合わせください」とすればよいという意見が出た。

##### c) 関連学会のスケジュール

獣医学領域のみでなく、人医領域の関連学会についてもホームページに載せることを検討することとなった。

#### (2) 学会への要望

##### a) 放射線治療の勉強会の部屋の設置

例として、圓尾部会長より、オルソの問題も含め、日本獣医がん学会の会員向けに、勉強会をしてはどうかという提案があった。(例えばオルソを新規に購入する際のことや、放射線の品質管理についてのことなど)

- b) メールマガジンの発行（学会会員向け）

学会としてメールマガジンを発行するか不明であるが、できれば学会で発行してもらい、その一部を放射線治療部会の情報の発信にも使いたいという提案が、圓尾部会長からなされた。
- (3) 学会運営に関する委員会（企画委員会）への要望

圓尾部会長より、今後、以下の3点を一括で提案したいとの発言があった。特に、アドバイザーについては偏りがあるので部会からの推薦をうけてもらえるよう要望したいとのことであった。

  - a) テーマの提案（雑誌も含む）
  - b) アドバイザーの提案
  - c) 大会場での症例発表の推薦
- (4) 飼い主向け講演会の実施

圓尾部会長から、藤田前会長のときにも数回実施されていたが、放射線治療についても飼い主向け講演会を実施してはどうかとの提案があった。藤田委員から同意の発言があり、内容については、放射線治療とはどういうものか、なぜ分割照射を行うのか、障害の有無やその重症度、効果の有無、といった事について講演してはどうかとの提案があった。
- (5) 認定委員会への要望

圓尾部会長から、認定委員会への要望について以下の提案があった。

  - a) 教科書の作成

長田委員から、基本的なことを学ぶことができ、追加や差し替えができる形、すなわち、リーフレット形式が理想ではないかという意見があった。最終的に日本獣医がん学会の指定教科書のようなものができれば、試験の出題範囲も分かりやすく、便利ではないかという意見もあった。
  - b) 教育講演者の推薦

藤田委員より、将来的には部会から選出するべきであるが、認定委員会長の石田先生の方針として十分に力がある人が講演するべきである、とのことなので、レジデントが自分の勉強を兼ねて講演を行うべきではない、との発言があった。この部会において、将来講演者として選出できるような人材を育てていく必要があるとの意見があった。
- (6) 研究部門

圓尾部会長から以下の2点の提案があった。

  - a) 照射プロトコルの統一による効果検討

藤田、高橋両委員から、マージン、門数、線量などをいきなり決めてやって行こうというのではなく、まず各施設の現状をまとめ、照射方法のデータを出しあった上で、どちらがいいか決めていくというように、今後部会で検討し、今後のガイドライン作成につなげればいいのか、という提案があった。
  - b) ガイドラインの作成

前項の内容から、取り下げられた。
- (7) 各放射線治療施設の年度ごとの照射例数などの集計（稼働実績）

藤田委員より、人医領域では内視鏡の手術を年何件実施しているなどという情報がwebに出ており、本学会としても検討するべきとの意見が出た。オルソについても集計する必要があると意見が出た。ただし、オルソに関してはwebに載せるかどうかは検討することとした。

( 8 ) 担当の決定

圓尾部会長より以下の担当について提案があった。藤田委員から、現段階ですべての担当を決める必要はないのではないか、という意見があった。そこで、副部会長、オルソ世話人、リニアック世話人、書記を決めることとし、圓尾部会長から以下の 4 名が推薦され、承認された。オルソについては、どの施設が行なっているか分からないため、情報が入れば、三宅委員に伝えることとした。三宅委員からまず本学会員で治療装置を持っている施設の先生に声をかけることのことであった。高橋委員から、東京大学に声をかけるとの発言があった。

- a) 広報
- b) 学術
- c) 研究
- d) 現状把握
- e) オルソ世話人                      三宅龍二先生
- f) リニアック世話人                和田成一先生
- g) 副部会長                            高橋朋子先生
- h) 書記                                 福山泰広先生

( 9 ) その他

3. その他

この部会の目的は、日本獣医がん学会の中で放射線治療に関する情報を共有し、一般開業の獣医師やオーナーに発信することとした。

4. 次回会議 開催予定

日時：本議事録の承認後、早急に実施予定。

場所：メール会議

出席者：全員（予定）

審議事項：

1. 審議事項

( 1 ) 日本獣医がん学会 web の充実について

- a) 放射線治療施設
- b) 放射線治療の解説（オーナー向け）
- c) 関連学会のスケジュール

( 2 ) 学会への要望

- a) 放射線治療の勉強会の部屋の設置
- b) メールマガジンの発行（学会会員向け）

( 3 ) 学会運営に関する委員会（企画委員会）への要望

- a) テーマの提案（雑誌も含む）
- b) アドバイザーの提案
- c) 大会場での症例発表の推薦

( 4 ) 飼い主向け講演会の実施

( 5 ) 認定委員会への要望

- a) 教科書の作成

( 6 ) 各放射線治療施設の年度ごとの照射例数などの集計（稼働実績）

( 7 ) その他

以上